

令和2年産水稲の収穫量（広島県）

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稲の作付面積（子実用）は2万2,600haで、前年産に比べ100ha（0.4%）減少しました。

また、主食用作付面積は2万2,000haで、前年産に比べ200ha（1%）減少しました。

2 作柄概況

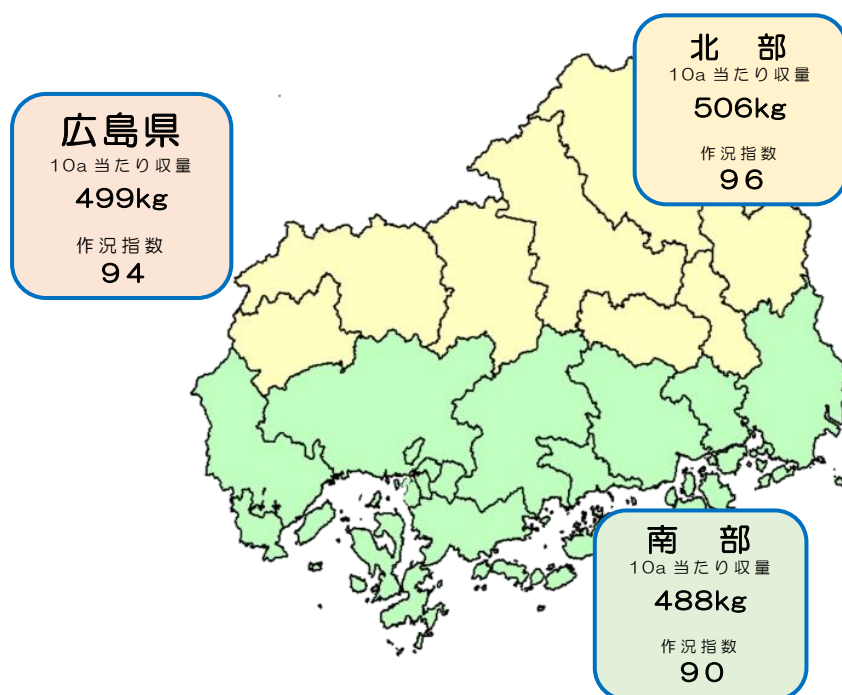
穂数は、田植期以降高温・多照で推移していたものの、7月以降の低温・日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、「やや少ない」となりました。1穂当たりもみ数は、幼穂形成期に当たる7月の日照時間が少なかったものの、8月以降高温・多照に経過したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

登熟は、トビイロウンカの被害発生や、梅雨明け以降、9月上旬までの高温により登熟が抑制されたことから「不良」となりました。

以上のことから、広島県の10a当たり収量は499kgとなり、前年産並みとなりました。作柄表示地帯別では、南部が488kg（前年産に比べ9kg減少）、北部が506kg（同5kg増加）となりました。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（広島県1.85mm）の作況指数は94（不良）となり、作柄表示地帯別では、南部が90（不良）、北部が96（やや不良）となりました。

図1 作柄表示地帯別10a当たり収量及び作況指数



3 収穫量

収穫量（子実用）は11万2,800tで、前年産に比べ500t（0.4%）減少しました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた主食用の収穫量は10万9,800tとなり、前年産に比べ1,000t（1%）減少しました。

表1 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

県・作柄 表示地帯	作付面積（子実用）			10a当たり 収量	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			収穫量（子実用）			参考	
	実数 ①	前年産との比較			10a当たり 収量 ③	10a当たり 平均収量 ④	作況指数 ⑤=③/④	実数 ⑥=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ⑦	収穫量 （主食用） ⑧=⑦×②
		対差	対比						対差	対比		
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
広 島	22,600	△ 100	100	499	475	508	94	112,800	△ 500	100	22,000	109,800
南 部	8,830	△ 220	98	488	452	503	90	43,100	△1,900	96	…	…
北 部	13,700	0	100	506	490	511	96	69,300	700	101	…	…

表2 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

単位：%

県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
広 島	重量割合	100.0	0.9	1.9	2.1	3.0	14.8	77.3
	平均値	100.0	0.6	1.3	1.6	2.0	12.2	82.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.6	0.5	1.0	2.6	△ 5.0
南 部	重量割合	100.0	1.4	2.9	3.1	4.5	19.5	68.6
	平均値	100.0	0.9	1.7	2.1	2.8	16.3	76.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.5	1.2	1.0	1.7	3.2	△ 7.6
北 部	重量割合	100.0	0.6	1.2	1.4	2.1	11.8	82.9
	平均値	100.0	0.5	0.9	1.2	1.4	9.3	86.7
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.2	0.7	2.5	△ 3.8

表3 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）

県・作柄 表示地帯	区分	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
		広 島	10a当たり収量(kg)	499	495	485	475
	収穫量(子実用)(t)	112,800	111,800	109,600	107,300	103,900	87,200
南 部	10a当たり収量(kg)	488	481	467	452	430	335
	収穫量(子実用)(t)	43,100	42,500	41,200	39,900	38,000	29,600
北 部	10a当たり収量(kg)	506	503	497	490	479	419
	収穫量(子実用)(t)	69,300	68,900	68,100	67,100	65,600	57,500

表4 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（広島県）

区分	計	単位：%							
		100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700kg以上
筆数割合	100.0	0.5	0.5	2.7	12.3	30.0	32.7	17.7	3.6
前年値	100.0	0.5	1.4	1.4	5.9	30.9	44.9	12.7	2.3
対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.9	1.3	6.4	△ 0.9	△ 12.2	5.0	1.3

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（広島県）

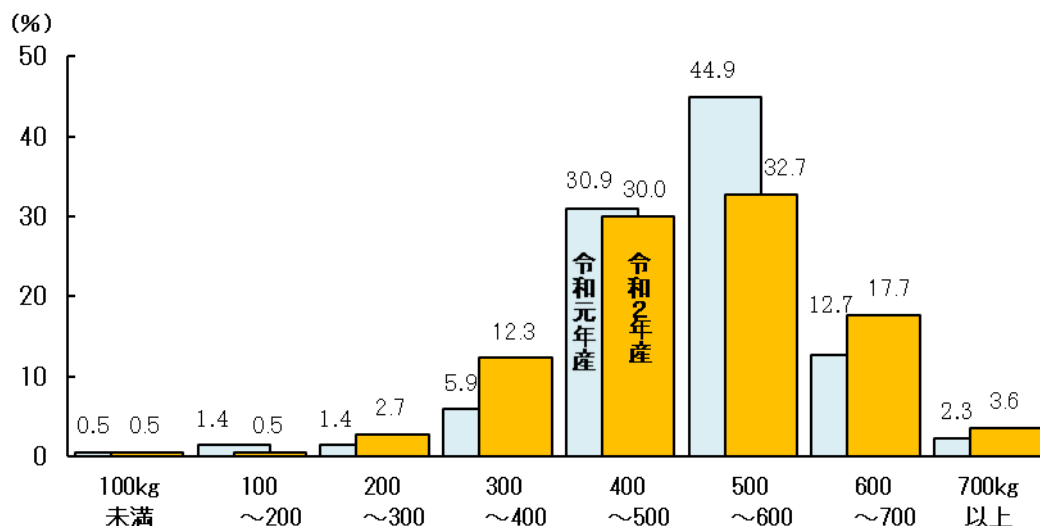


表5 水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布（広島県）
【令和2年産水稻作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

区分	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75～1.80	1.80～1.85	1.85～1.90	1.90～2.00	2.00mm以上
農家数割合	100.0	—	0.5	25.9	70.7	2.9	—

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稻作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものです。

表6 令和2年産水稻の被害面積及び被害量（広島県）

被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
	ha	t	%	ポイント
日照不足	22,600	5,030	4.2	△ 1.1
高温障害	12,600	1,920	1.6	0.2
いもち病	4,920	971	0.8	△ 0.3
ウンカ	6,250	3,070	2.6	1.8
カメムシ	1,450	587	0.5	0.2

◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主 食 用 作付面積	収穫量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
広島県 平成22年産	26,400	511	134,900	98	26,000	132,900
23	26,000	523	136,000	100	25,500	133,400
24	26,000	539	140,100	103	25,500	137,400
25	26,000	520	135,200	99	25,500	132,600
26	25,600	497	127,200	95	24,800	123,300
27	24,700	507	125,200	96	24,000	121,700
28	24,100	531	128,000	102	23,400	124,300
29	23,700	534	126,600	102	23,100	123,400
30	23,400	525	122,900	101	22,900	120,200
令和元年産	22,700	499	113,300	95	22,200	110,800
2	22,600	499	112,800	94	22,000	109,800
南 部 22	11,200	504	56,400	96
23	11,000	526	57,900	100
24	10,900	538	58,600	102
25	10,900	516	56,200	98
26	10,700	511	54,700	97
27	10,300	508	52,300	96
28	9,920	534	53,000	102
29	9,660	536	51,800	102
30	9,480	529	50,100	101
令和元年産	9,050	497	45,000	94
2	8,830	488	43,100	90
北 部 平成22年産	15,200	516	78,400	99
23	15,000	520	78,000	100
24	15,000	540	81,000	103
25	15,100	523	79,000	100
26	14,900	487	72,600	93
27	14,500	507	73,500	97
28	14,200	530	75,300	102
29	14,100	532	75,000	102
30	13,900	523	72,700	101
令和元年産	13,700	501	68,600	95
2	13,700	506	69,300	96

本資料は、「令和2年産水稻の収穫量（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 広島県拠点 統計チーム 担当：黄金、^{ふくがうち}福垣内

電話：082-228-5847 FAX：082-228-5834